



23年10月号

月刊！#満バス風雲児通信

■ 第212回臨時国会が開会 (2023.10.20)

10月20日(金)から第212回臨時国会が開会しました。会期は12月13日(水)までの55日間です。法案10本、条約1本の成立を目指します。



■ コスモス地域交流会 (2023.10.21)

田光資源と環境を守る会の主催によるコスモス地域交流会にお邪魔しました。食料安全保障の観点からも水田活用は、重要な課題です。地域住民が力を合わせて、営農活動を展開されていることに敬意と感謝を申し上げます。



■ みえスポーツフェスティバル2023 少林寺拳法三重県大会(2023.10.18)

いなべ市で開催された大会にお招きいただき、改めて集うことの大切さを実感すると共に、拳士の皆様が相手に敬意を持ち、理念に向かって全力を尽くされるよう祈念いたしました。



■ 第44回孤野町戦没者を追悼し 平和を祈念する式典 (2023.10.7)

先の大戦において犠牲となられた方々とそのご遺族に対し、謹んで哀悼の意を表しました。また英霊の皆様の尊い犠牲の上に平和と繁栄がある事を次世代に継承していくとともに、恒久平和に向けて今後も不断の努力を続けていくことをお誓い申し上げます。



■ 四日市港海岸シンポジウム (2023.9.30)

今年7月に設立された四日市港の海岸整備を進める会の名誉会長であります一見三重県知事と森智広四日市市長、会長の四日市商工会議所の小川謙会頭をはじめ、港湾内の各企業、地域住民が大勢参加のもと地元選出の国会議員も来賓として御招き頂き、四日市港海岸シンポジウムが開催されました。地域と国とのパイプ役になる事をお誓い申し上げます。



■ 一見隆彦先生 藍綬褒章受章を祝う会(2023.10.1)

長年、三重県鍼灸師会だけでなく日本鍼灸師会で多大なる功績を残された、一見様の藍綬褒章受章お祝いに駆けつけました。一見様が会長時代に締結に尽力された、鍼灸師会と県と、鍼灸マッサージ師会との三者による「災害時における業務提携協定」の重要性とご功績に、首長経験者として、改めて敬意と感謝を申し上げます。



■ 東邦地水 MIRAI ACTION キックオフ(2023.10.2)

四日市市の東邦地水(株)がSDGsへの取り組みを含む、4つの柱を打ち立てた2030年へのプロジェクトのキックオフ式にて祝辞を述べました。激変する時代の中、社員自らが、自身の会社の将来像や存在意義を問うことの重要性や、社員の皆様がどれだけ企業理念へのコミットしているかが、数字では測れない大切な価値になってきていることをお伝えしました。プロジェクトの成功を祈念しております！



週刊！通信は公式LINEにて毎週配信中！

■ 木曾岬町加藤町長より要望 (2023.10.17)

町内における全ての高潮堤防について、左右岸同様に地震・津波対策の地盤改良実施、木曾岬干拓地の安全性向上を図る堤防についても高潮対策及び耐震補強を進めて欲しいとの要望を受けました。



■ 桑名市播磨神明社秋祭り(2023.10.15)

播磨神明社（桑名市）の秋祭りに地区の皆さま方のご理解を得て参加しました。爽やかな秋晴れのもと、地域の安寧と五穀豊穡を祈念いたしました。



■ 靖國神社秋季例大祭 (2023.10.18)

「みんなで靖國神社に参拝する国会議員の会」に所属する96名で秋季例大祭に参拝しました。ご英霊に対し、感謝の念を新たにし、日本の安寧を祈願いたしました。



■ 員弁川被災現場視察(2023.10.13)

三重県桑名建設事務所、いなべ市建設部、本郷区自治会（いなべ市）の方々と員弁川被災現場を視察しました。護岸崩壊現場においては建設事務所より補助事業として災害復旧工事の査定を受け工事を進めたいと返答いただきました。2ヶ所の崩落現場については鋭意復旧に向け努力頂くよう要望いたしました。その他被災原因の一つと思われる河川内の流木やゴミ等については早急に撤去すると返答いただきました。

■ 殖粟神社 秋の大祭 (2023.10.9)

殖粟神社（四日市市）の秋の大祭に御招きいただきました。ここで披露された市場町の獅子舞（市場町獅子舞保存会）は、49年に渡って郷土芸能の保存・継承と普及に尽力し、伝統文化発展に貢献してきたことにより、第42回四日市市文化功労者を市より受賞されました。表彰に値する迫力ある見事な舞でした。



■ 三重県建設業協会支部 青年部懇親会(2023.10.13)

桑員支部青年部懇親会に参加させていただきました。地域の安全・安心のために更なる計画の策定の必要性を述べました。活気ある青年部の皆さまと懇談し、現場のお声を聞かせていただきました。

■ 第59回三重県私学大会 (2023.10.21)

第49回三重県私学大会に参加致しました。少子化により、私立学校などを取り巻く、特に、運営面における環境は厳しさを増していますが、建学の精神を大切にして、今後も児童生徒の人間形成のために全力を傾けて欲しいと申し上げました。



■ 石原正敬プロフィール

生年月日：昭和46(1971)年11月29日
三重郡菟野町生まれ

【経歴】

- ・名古屋大学大学院教育発達科学研究科助手
- ・三重県議会議員
- ・菟野町長

【現職】

- ・名古屋大学大学院教育発達科学研究科 附属授業研究国際センター 研究員

【主な所属】

- ・議院運営委員会
- ・経済産業委員会
- ・厚生労働委員会
- ・災害対策特別委員会
- ・政治倫理審査会

【主な党役職】

- ・総務会 総務
- ・国会対策委員 陪席 ・観光立国調査会 幹事
- ・中小企業・小規模事業者政策調査会 幹事
- ・団体総局 国土・建設関係団体委員会 副委員長
- ・住宅土地・都市政策調査会 事務局次長
- ・整備新幹線等鉄道調査会「地域鉄道のあり方に関するPT」 ・物流調査会 幹事
- ・下水道・浄化槽対策特別委員会



LINE



SNS一覧

🔍 新米秘書の質問コーナー!! Vol.7

秘：国会開会式が行われるにあたり、天皇陛下のお出迎えがありますが、お迎え場所はどちらですか？

石：国会正門を入ると左側が衆議院、右側が参議院となっています。国会議員がそれぞれの院側に整列し、頭を垂れたままお迎えします。